

会員のみなさんへ

第35回中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会に参加して 理事長 中川 忠宣

今回も多くの実践事例が紹介されて新しい発想を持ち帰ることができました。今回は大分県の関係者が少なく寂しいでしたが、会員の
上原さんの子どもさんが参加され、大学での教員を目指した学修に生かしていくとのことでした。

今回の私の役割は、「特別企画II」の展開:テーマ:「生涯教育実践研究交流会」開催の手順・手法の開発と実際?必殺仕掛人の使命・ロマン
と役割?のインタビューダイアログに登壇することでした。篠栗での実践交流会をお手本にして、10年前に大分県版の「地域発活力・発展・安
心デザイン実践交流会」の立ち上げと継続の実践について、次のような内容を報告しました。参加した方々の参考になったかどうか分かりませ
んが、今回、会報誌に報告させていただくことによって「協育」ネットの会員の皆さんに趣旨を知っていただき、今後、「地域発活力・発展・安心デ
ザイン実践交流会」へ参加していただければと願っています。増刊号にも記事を掲載しています。

1. なぜ、実践交流会を企画・実施したのか

- ①県教育委員会社会教育監という立場で平成19年度に始めた。
- ②篠栗での交流会に参加して、大分県の参加者が少ないのもったいない。篠栗まで来れないなら、大分の地で、同様の趣旨で出来ないか。
- ③平成17年度に策定した「おおいた教育の日」条例の具現化に向けて、民間を中心として「子どもたちの教育を考える」(実践を交流する)仕
組みを作りたい。行政は予算が無くなったら終わり、予算の裏付けがない事業はしない(出来ない)ために、4年目から行政は関わりを持て
なくなった。

2. 組織化の苦勞・工夫・留意点

- ①どここの民間と手を組むのか
→かつて関わっていた「東国東地域デザイン会議」が活動していたので口説いたが2年かかった。
→「東国東地域デザイン会議」も地域の宿泊施設「梅園の里」の活用と組織の活性化を求めている。
- ②篠栗のテーマと県行政のテーマを合体させて
→県は「安心」「活力」「発展」がスローガンだが「活力」「安心」「発展」にしたいので、知事秘書に相談したら「OK」であった。
「地 域 発」:県内18市町村のいろんな地域から活動情報を発信する交流会とする。
「活 力」:参加者が活力を貰う交流会とする。
「発 展」:「次世代を担う子どもたちの育成による地域の発展」をテーマとする。
「安 心」:テーマ実現により、子どもや高齢者の安全・安心、地域産業等の発展による安心な
地域づくり等を目指した交流会とする。
「デザイン」:新しい発想、地域の個性・独自性等がデザインされた交流会とする。
「実 践」:実践していることの交流会とする。

3. 今後の方針

- ①青少年の健全育成をテーマにしてきたが、社会教育施設や様々なNPO等の取組を入れながら、参加したくなるようなテーマと事例の掘り
起しを進めたい。
- ②運営に関して、現在は大分大学高等教育開発センター事業として実施しているために、事務を行っているが、今後はNPO法人大分県協育
アドバイザーが事務局、「東国東地域デザイン会議」が当日の運営と経費の提供、大分大学が経費の提供と事例集め、等の協働体制づくり
を進めるが、教育行政との協働体制づくりは不可欠である。

子どもたちの輝く瞳に感謝

山上 伸子 (1期生)

大分市滝尾校区民生委員児童委員



民生委員児童委員、主任児童委員に任命されたのをきっかけに、「絵本の読み聞かせ」をするようになって15年が過ぎました。地元小学校の放課後支援学級「育成クラブ」に当時の主任児童委員の渡辺さんと通いはじめて、生徒の増加にともない3人となりました。1年生から4年生まで約200人ほどを2組に分けて実施しています。天井も床も抜けてしまいそうなくらい元気な子ども達も最後は、瞳を輝かせて聴き入っています。この本で、未来の希望や今の生活のほっとする場になったらいいなと思います。テーマはいろいろ、冒険もの、防災について、科学読み物、学校、家庭生活、昔ばなし等。最後は必ずほっとするものを心がけています。また、以前から念願であった子育てサロン。主任児童委員の時は実現できませんでしたが、退任した翌年、当時の地元の民生委員児童協議会(民児協)の会長が主だって立ち上げてくれ、スタッフとして読み聞かせを実施しています。今年で10年になりました。さて、6年前から民生委員となり、地域のお一人暮らしの高齢者を見守り、高齢者サロン「片島ふれあいサロン」のスタッフとして参加。これで、三世代交流に携わるようになりました。協育アドバイザーの第1期生として、研修学習をしてきましたが、理論と経験がマッチして、とても活動がしやすくなりました。その後、小学校の学習支援「わんぱくひろば」(南部公民館エリア)の講師の一員として、学習支援、最後に読み聞かせをしています。これも4年になりました。小学校、中学校の各種行事には、地区の役員の皆様と参加。小学校の行事には、スタッフとして微力ながらお手伝いをさせていただいています。わが地域は、大規模校にて、コミュニティースクールは、まだまだ本格始動はできておりませんが、学校を中心にして、あたたかい地域づくりをしていきたいと思っています。(写真はスタッフと読み聞かせの風景です)

会員さんの活動紹介

武本 幹雄 (6期生)

一般社団法人プテラ 代表理事

iPadと英語を使った、留学生と子どもたちの国際交流活動e-KAMISHIBAI

プテラは、iPadと英語を使って留学生と子どもたちが、大分に伝わる昔話を一緒に読んだり、留学生の国の食べ物、衣装、観光地などをホームページで見ながら話したりする国際交流活動e-KAMISHIBAIを行っています。2011年から活動を開始し、これまでに140回実施し、のべ1,977人の子どもたちと79名の留学生との交流を行いました。



世界・未来に羽ばたく子どもたちを支援していきたい・

今、小学生から見ると大学生は随分と大人ですが、10年後には、共に社会の一線で活躍する世代になっています。その時、「そうだ、あの時の留学生に会いに行こう」とか、仕事で一緒になったりするとか、そういう交流が生まれればいいなと思いつつ、これからも活動を続けていきたいと考えています。

一般社団法人プテラ

■所在地 大分市 ■URL www.e-kamishibai.com
■TEL 090-4988-4552 ■FBook e-KAMISHIBAI
■E-mail info@ptera.jp



学校現場におけるボランティアによる「読み聞かせ」に携わって

佐藤 夏子 (6期生)



文科省が子ども読書推進の一環として提唱してから、ほとんどの小学校でボランティアによる「読み聞かせ」が行われています。学校外部からの定期的な学校支援という意味では、質はともかく量は他の活動を圧倒しているのではないのでしょうか。その実態は各学校においても、個人においても、グループにおいても様々です。更に制度としても各学校まちまちに位置づけられて私は、ボランティア(読み手)として、図書館支援員として、トータルで20年以上関わってきました。立場が違えば同じ現象が全く違うふうに分けられることも多く、間に立つということの重要性を感じることはしばしばです。図書館支援員というのは大分市の制度で、学校図書館において図書担当の教師をサポートし図書館教育が円滑に行われるためにおかれているのですが、仕事内容の細かいところは各学校の実情に合わせて違っているようです。したがって、読み聞かせに深く関わっている人もあれば全く関与してない方もおられます。私の場合、2校に勤務していますが、どちらとも初めから深く関わってきました。学校側として求められた面と希望して行っている面の双方があります。結果として、コーディネーターとして働いてきたということになります。2校の活動内容は多少の違いがありますので、混乱と誤解を避けるため、1校のみの紹介にいたします。主なものは、読み聞かせグループに対しては、①勉強会のサポート ②選書のアドバイス ③読み聞かせの指導 ④学校で行われるということに対するマナー、ルールの説明 ⑤学校側希望の伝達 ⑥市等からの希望情報の伝達 学校側に対しては、①読み聞かせの祭の教師側の協力の要請 ②グループの希望の伝達 ③グループの精神や読み聞かせのやり方の伝達スケジュールの調整は学校、グループ代表の間で直接にして貰っています。この数年、グループの運営は非常にうまくいっています。学校側とグループ側が相互に理解を深め、お互いの立場を尊重して行っているようです。

事務局よりお知らせ

① 日本生活体験学習学会地方セミナーのご案内 参加費：無料

日本生活体験学習学会と地域との共催事業が開催されます。協育ネットも共催団体として参加させていただきます。日ごろは、学会の関係者の研究会ですが今回は学会と地域が協働して、学校教育における「体験の推進」について、義務教育9年間を見通した教育課程の編成と、そのためのコミュニティ・スクールの意義を会場の皆さまと一緒に考えます。なかなかこのような機会はないので、協育ネット関係者のご参加をお待ちしております。

テーマ：コミュニティ・スクールにおける「体験知」の育成を考える
「体験学習、こうすれば取り組みやすい!? コミュニティ・スクールの活かし方」

開催日：2016年8月3日(水)13:30~16:00

共催：由布市教育委員会・NPO法人大分県協育アドバイザーネット・日本生活体験学習学会

会場：由布市挾間健康文化センター“はさま未来館” 〒879-5506 大分県由布市挾間町挾間104-1

申込・問合せ ○氏名・所属を記載して、7月28日(木)までに下記へ申し込みください。

大分大学COC+推進機構 特任教授 中川忠宣 電話:097-554-6027 Email:nakagawa@oita-u.ac.jp

② 2016年度の会費が未納の会員の方は、早急に納入願います。

2年を超えて未納の場合は定款に従って会員の資格を喪失することとなります。(休会の際は、連絡をください)

会費の納入先 ※郵送の場合:〒870-1192 大分市大字旦野原700番地 大分大学高等教育開発センター 中川忠宣宛

※振込の場合:ゆうちょ銀行 記号17220 番号4866821 (トクビ)オオイトケンキョウイクアドバイザーネット

広報部よりお知らせ

協育ネット会員の皆様こんにちは～ 広報担当の上原です。今月も発行が遅れて申し訳ありません、その分臨時増刊号で協育ネット総会報告、第35回中国・四国・九州地区 生涯教育実践研究交流会の記事を特集してみました。今回で紙面をリニューアルして2年となります。この間たくさんの会員の皆様の元へ取材して参りました。これからもHP・フェイスブックも併用しながらスピーディーな情報発信をしたいと考えていますのでよろしくお願ひします。皆さんの活動・イベントを紹介ください 取材に飛んで行きますよ～～！